

あずま小学校だより

学校通信 第6号 平成30年9月12日
学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



学力向上に向けて ～全国学力・学習状況調査の結果より～

4月に行われた「全国学力・学習状況調査」は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として行われるものです。内容は、「国語」・「算数」・「理科」、児童の生活・学習状況に関するアンケートです。学力状況調査は、「知識」の問題と「活用」の問題の2種類の構成となっています。なお、「理科」の学力状況調査は3年に一度の実施です。

全国学力・学習状況調査の個々の結果は、本日個人カードとして6年生全員に配付いたしました。各ご家庭で話し合ってください、今後の学習の参考としてください。

校内で結果分析を行った結果、**学力状況調査**では、国語の「主語と述語に注意して文を書くこと」「目的に応じて詳しく書くこと」、算数の「角の大きさの求め方」「折れ線グラフの読み取り」、理科の「堆積についての理解」「乾電池のつなぎ方と電流の向き」の学習についての正答率が高く、良くできていました。反面、国語の「計画的に話し合うこと」「目的に応じた読み取り」、算数の「1にあたる大きさを数直線上に表すこと」「円周率の意味の理解」、理科の「人の腕が曲がる仕組み」「結果を見通して実験を構想すること」の学習についての正答率が低く、課題があることが分かりました。また、各教科とも活用問題の正答率が低く、活用する力を伸ばしていく必要を感じました。**学習状況調査**では、「学習に対する意欲が高く、自分で計画を立てて勉強をしていること」「自己肯定感が高く、将来の夢や目標を持っていること」「地域での活動を大切に考えており、ボランティア活動等に参加していること」などが分かり、うれしく思いました。反面、「家庭学習の時間が少ない児童が多いこと」や、「読書量に差があること」も分かりました。

これらの結果を受け、あずま小学校では、今後の学力向上対策として、以下の点に重点をおいて取り組んでいきたいと考えております。

①子どもたちが「わかった!」「もっとやりたい!!」と思える授業

本校は、昨年度より2年間の学力向上推進モデル校の指定を受け、子どもたちの「なぜ?」を「わかった!」「もっとやりたい!!」につなげる算数の授業づくりに全職員で取り組んでいます。昨年度から引き続き、授業の流れや、板書、ノート指導など、共通実践を継続しています。それに加えて本年度は、子どもたちが「なぜ?」「やってみたい!」と思えるような課題の工夫、また、「わかった!」と思えるような子どもたち同士で学び合う場面の工夫、そして、「もっとやりたい!!」と思えるような授業のまとめや練習問題の工夫を行っています。子どもたちの活用力を伸ばすため、ただ答えが出せればよいということではなく、「どうしてそう考えたのか」という「根拠」を明確にしていく授業を積み上げていきます。

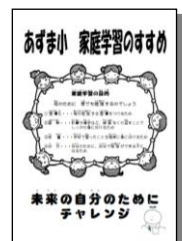


よりよい授業に向け、職員同士で授業を見合い、研修を進めています。

②朝学習や家庭学習の充実

活用力を伸ばすために、基礎・基本の定着は、とても大切なことです。そこで、算数・国語の基礎的・基本的な学習に計画的に取り組めるようにしています。また、基礎→発展→さらに発展と段階的に学習できるようなプリントを用意しています。2学期以降、学力状況調査の結果を活かした学習内容を精選していきます。

また、日々の宿題もちろん大切ですが、「家庭学習のすすめ」にある自主学習の例を参考に、子どもたちが自主的に苦手な学習や興味のある学習に取り組めるよう、学校でも声をかけていきたいと思います。



③読書に親しむ環境作り

図書委員会を中心とした「おすすめの本」を伝える活動や、多読賞としてしおりをプレゼントする活動など、子どもたちが読書に親しめる環境作りを継続していきます。これらの活動により、学習の基本となる読書の量を確保したり、質を高めたりしていきたいと思います。